

人類の出エジプト

シリーズ～福音の力～
2020/04/05 棕櫚の主日

ルカによる福音書9章28～36節

この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。見ると、二人の人人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。ペトロと仲間は、ひどく眠かったが、じつところえていると、栄光に輝くイエスと、そばに立っている二人の人が見えた。

その二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましよう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。ペトロがこう言っていると、雲が現れて彼らを覆った。彼らが雲の中に包まれていくので、弟子たちは恐れた。すると、「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」と言う声が雲の中から聞こえた。その声がしたとき、そこにはイエスだけがおられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時だれにも話さなかつた。

前回のおさらい

・ガリラヤ伝道の終結

- 様々な癒しや奇跡を行い預言者だと思われていた
- 弟子たちはイエス様が「神からのメシア」だと思った

・受難と復活の予告

- 「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」9:22

・弟子たちの再召命

- 「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」9:23

イエス様の変貌(へんぼう)

- **特別な祈りの時**
 - ペトロ・ヨハネ・ヤコブだけを連れて山に登られた
 - いつもの祈りの時とは違う
 - 次のステージに向かうための祈り
- **姿が変わられたイエス様**
 - 「顔の様子が変わり」:光り輝いた?
 - 「服は真っ白に輝き、この世のどんなさらし職人の腕も及ばぬほど白くなった。」マルコ9:3
 - **神の特別な臨在が顕れた**

モーセとエリヤ

- **現れたモーセとエリヤ**

- モーセ:イスラエルの民をエジプトから救い出し、律法を主なる神から授かった
- エリヤ:腐敗しきっていた北イスラエルにおいて、様々な奇跡を行って国を救った預言者

- **話し合われたエルサレムでの最期**

- 「イエスがエルサレムで遂げようとしておられる**最期**について話していた」
- 「最期」は原語では「**出エジプト**」を表す言葉
- 人類の出エジプトである死と復活について話された



3人の会話(想像)

イエス「おう!モーセとエリヤ。わざわざありがとう」

モーセ「イエス様、いよいよですか。」

エリヤ「やはり人類の罪を背負って死なれるのですか?」

イエス「そう。計画通り。そのために私は人となってこの世界に来たのだから。」

モーセ「本当の贖いの子羊になられるのですね。」

エリヤ「愚かで罪深い私たちのために…本当に申し訳ないです。」

イエス「私の愛する民を救うためだ。喜んでこの命を差しだそう。最後まで見届けてくれ!」

出エジプトと十字架の共通点

- **出エジプトの際の最後の災い**
 - 羊を屠り、その血を入り口の鴨居と柱に塗る
 - 死の使いはその家を「過ぎ越し」、その家の中にいた者は救われた
 - 「これが主の過越の犠牲である。主がエジプト人を擊たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越し、我々の家を救われたのである」
出エジプト12:27
- **「過越祭」>最後の晚餐(聖餐)**
 - 「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。」ルカ22:20

過越の血



「キリストが、わたしたちの過越の小羊として屠られたからです。」 コリントー5:7

モーセとエリヤが現れた理由

- **律法の象徴であるモーセ**
 - 「律法」はユダヤ人と主なる神との契約
 - 守れば祝福、破れば呪い
- **預言の象徴であるエリヤ**
 - 悔い改めれば救われるというメッセージ
 - 将来、完全な救いが与えられるという予告
- **イエス様は律法と預言の成就**
 - 「エルサレムで遂げよう」は原語では「成就する」
 - 「律法と預言者」は**旧約全体**を指す言葉 マタ5:17
 - イエス様は、エルサレムで旧約聖書の約束全てを成就しようとされている

父なる神の宣言

- トンチンカンな発言をしてしまったペトロ
 - 3人のために「仮小屋」を建てましょう!
 - 「ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。」
- 神様の臨在が彼らを包む
 - 「雲が現れて彼らを覆った。彼らが雲の中に包まれていくので、弟子たちは恐れた。」
- 父なる神の声
 - 「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」
 - イエス様は神の子であり、救い主であることを神自ら直接言明された

人類の出エジプト ＜永遠の滅びからの救い＞

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。神はこのキリストを立て、その血によって**信じる者**のために罪を償う供え物(**十字架**)となさいました。」ローマ3:23-25